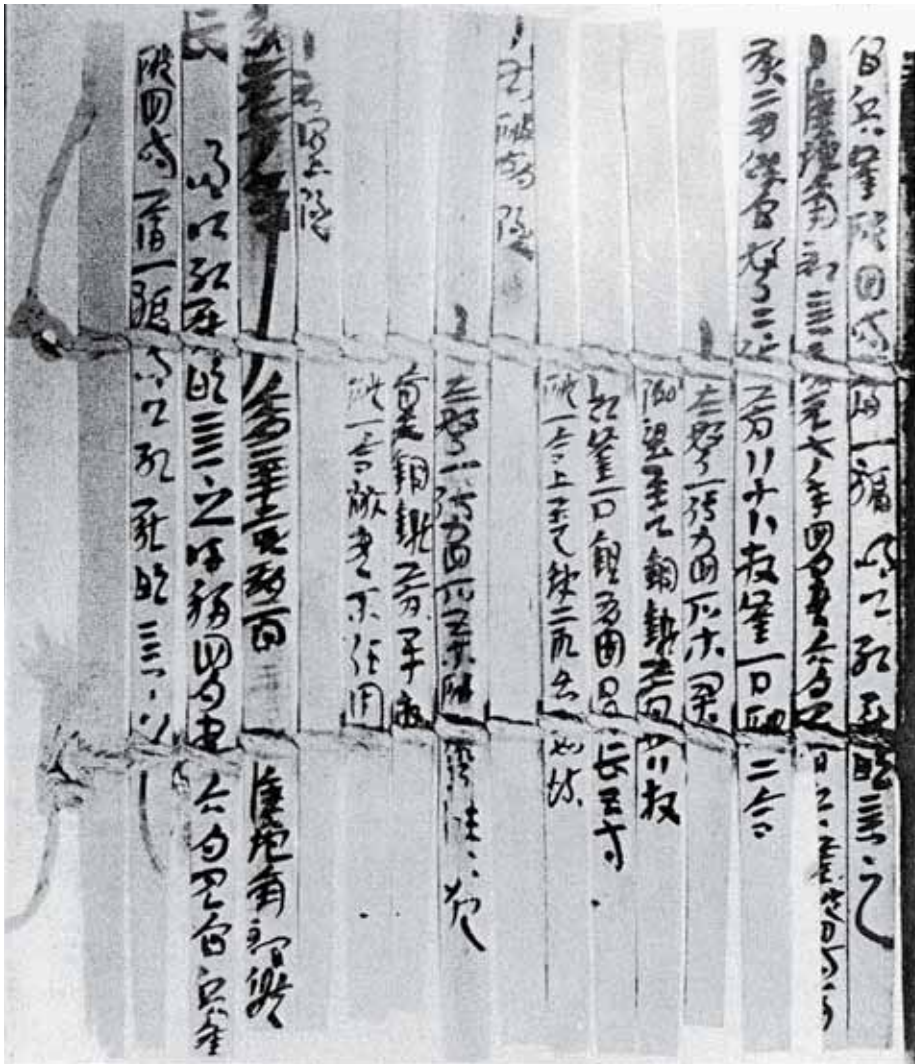


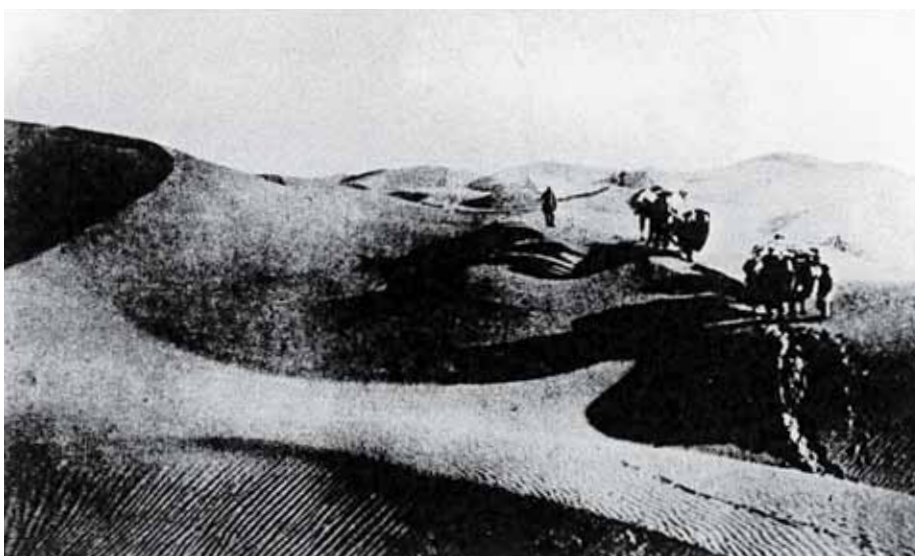
書 の 道

No.477

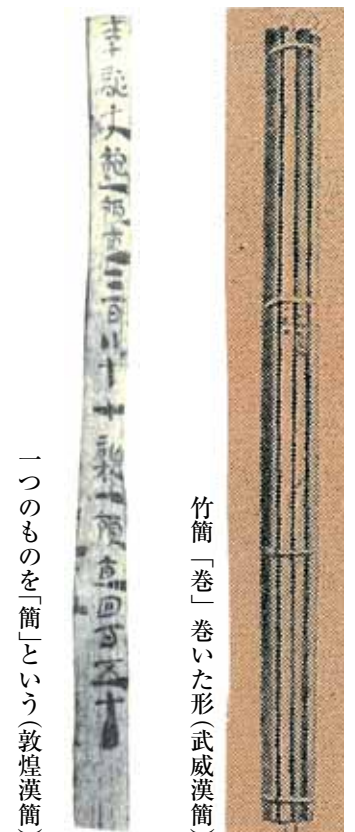
令和2年 5月号



木簡「冊」開いた形（居延漢簡）



スタイン博士の率いる中央アジア探検隊。



一つのことを「簡」という（敦煌漢簡）

竹簡「巻」巻いた形（武威漢簡）

李龍文袍一領直二百八十七襲一領直四百五十（敦煌漢簡 76）

李龍文袍一領直二百八十七

李龍文袍一領直四百五十

李龍文袍一領直四百五十



大琳 臨

羽田野知子氏の曹全碑の学習法には漢の時代の金銭面を知るために敦煌漢簡⁶で金額が示されているものを見ると、李龍文袍一領直二百八十七襲一領直四百五十。李龍文（人名）の袍（外衣）一領⁷、値は二百八十七錢。襲⁸（かさね衣）一領、値は四百五十錢。と記されており、袍（外衣）が一揃い287錢。襲（かさね衣）が一揃い450錢。とある。

大庭脩著「大英図書館蔵 敦煌漢簡」同朋出版（1990年）にも記されており、広辞苑第六版には、

「領」衣類・よろいなどの一そろいを数える語としても使う。「襲」かさねて着る着物。衣服の一そろい。かさね。とある。

（大琳）

大琳先生による木簡の臨書作品です。

章草（隸書から草書へと変化する課程の書）の木簡のなかでも多く臨書されている部分です。

森田子龍・墨美社発行「放太木簡集英」（昭和四十二年）では「絶」（糸（いと）へん）、赤井清美編・東京堂出版発行「漢簡」（昭和五十年）では「袍」（ネ（ころもへん））と解説されています。正しくは「袍」（ネ（ころもへん））です。

みなさんも筆脈に注意しながら臨書してみましよう。

舛添 木菴 記



大琳 臨

(表2からのつづき)

復商一二三四

十一
三
木
一
預
合

一
道
四
足

四
五
六
七



2020

5

May

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

花咲く
明日は
きつと
来る
ななこの詩

